

熊本市教員採用試験

令和8年度(2025年実施)

教職教養

[1] 次の(1)～(6)の文は、法令の条文の一部である。それぞれに該当する法令を、下の①～⑨からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。

(1) 小学校は、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行い、その結果を公表するものとする。

解答番号は、[1]

(2) 校長は、感染症にかかっており、かかっている疑いがあり、又はかかるおそれのある児童生徒等があるときは、政令で定めるところにより、出席を停止させることができる。

解答番号は、[2]

(3) 法律に定める学校は、公の性質を有するものであって、国、地方公共団体及び法律に定める法人のみが、これを設置することができる。

解答番号は、[3]

(4) 公立の小学校等の校長及び教員の指導助言者は、当該校長及び教員がその職責、経験及び適性に応じた資質の向上のための取組を行うことを促進するため、当該校長及び教員からの相談に応じ、研修、認定講習等その他の資質の向上のための機会に関する情報を提供し、又は資質の向上に関する指導及び助言を行うものとする。

解答番号は、[4]

(5) 国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない。

解答番号は、[5]

(6) 学校においては、別に法律で定めるところにより、幼児、児童、生徒及び学生並びに職員の健康の保持増進を図るため、健康診断を行い、その他その保健に必要な措置を講じなければならない。

解答番号は、[6]

① 日本国憲法

② 教育基本法

③ 学校教育法

④ 学校教育法施行令

⑤ 学校教育法施行規則

⑥ 学校保健安全法

⑦ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

⑧ 地方公務員法

⑨ 教育公務員特例法

[2] 次の(1)～(4)の文は、法令の条文の一部である。文中の()に当てはまる語句として正しいものを、それぞれ下の①～⑥から一つ選び、番号で答えなさい。

(1) 職員は、()の定めるところにより、サービスの宣誓をしなければならない。

(地方公務員法 第31条)

解答番号は、[7]

- ① 憲法 ② 条例 ③ 法律
④ 地方公共団体の規則 ⑤ 法令 ⑥ 地方公共団体の機関の定める規程

(2) 地方公共団体における教育行政は、教育基本法(平成十八年法律第二十号)の趣旨にのっとり、教育の()、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう、国との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならない。

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第1条の2)

解答番号は、[8]

- ① 目標の達成 ② 事務管理 ③ 大綱の策定 ④ 機会均等
⑤ 目的の実現 ⑥ 事務執行

(3) 国及び地方公共団体は、前項の任務を行うに当たっては、国民の学習に対する多様な需要を踏まえ、これに適切に対応するために必要な学習の機会の提供及びその奨励を行うことにより、()の振興に寄与することとなるよう努めるものとする。

(社会教育法 第3条第2項)

解答番号は、[9]

- ① 生涯教育 ② 社会教育 ③ 成人の教育活動 ④ 家庭教育
⑤ 青少年の教育活動 ⑥ 生涯学習

(4) 小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長は、常に、その学校に在学する学齢児童又は学齢生徒の()を明らかにしておかなければならない。

(学校教育法施行令 第19条)

解答番号は、[10]

- ① 学習状況 ② 出席状況 ③ 障害の程度 ④ 就学状況
⑤ 成績状況 ⑥ 住所

[3] 次の文は、「小学校学習指導要領（平成29年告示）」の「第1章 第3 教育課程の実施と学習評価」の一部である。（1）、（2）の各問いに答えなさい。

2 学習評価の充実

学習評価の実施に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

（1） 児童の（ア）などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること。また、各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、（イ）や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすること。

（1） （ア）に当てはまる語句として正しいものを、①～⑥から一つ選び、番号で答えなさい。

解答番号は、[11]

- ① 改善点や進歩の状況
- ② よい点や成長した姿
- ③ 振り返りや改善点
- ④ 進歩の状況や成長した姿
- ⑤ よい点や改善点
- ⑥ よい点や進歩の状況

（2） （イ）に当てはまる語句として正しいものを、①～⑥から一つ選び、番号で答えなさい。

解答番号は、[12]

- ① 指導の効果
- ② 指導の改善
- ③ 指導計画の見直し
- ④ 指導方法の工夫
- ⑤ 指導との接続
- ⑥ 指導との関連

[4] 次の文は、「生徒指導提要」（令和4年12月 文部科学省）の「第1部 第3章 3.3.1 教育相談の基本的な考え方と活動の体制」の一部である。(1)、(2)の各問いに答えなさい。

教育相談の目的は、児童生徒が将来において社会的な（ア）ができるような資質・能力・態度を形成するように働きかけることであり、この点において生徒指導と教育相談は共通しています。

（中略）

また、教育相談は、生徒指導と同様に学校内外の連携に基づくチームの活動として進められます。その際、チームの要となる（イ）の役割が重要です。

(1) （ア）に当てはまる語句として正しいものを、①～⑥から一つ選び、番号で答えなさい。

解答番号は、[13]

- ① 自立 ② 適応 ③ キャリア形成 ④ 自己実現 ⑤ 貢献
⑥ 集団生活

(2) （イ）に当てはまる語句として正しいものを、①～⑥から一つ選び、番号で答えなさい。

解答番号は、[14]

- ① 教育相談コーディネーター ② 学年主任 ③ 生徒指導主事
④ 校長 ⑤ スクールカウンセラー ⑥ 養護教諭

[5] 次の文は、「こども基本法（令和4年法律第77号）」の「第三条」の一部である。（ア）、（イ）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑥から一つ選び、番号で答えなさい。

解答番号は、[15]

三 全てのこどもについて、その年齢及び発達に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して（ア）を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。

四 全てのこどもについて、その年齢及び発達に応じて、その（ア）が尊重され、その（イ）が優先して考慮されること。

- | | ア | イ |
|---|----|--------|
| ① | 意見 | 安定的な扶養 |
| ② | 要求 | 安定的な扶養 |
| ③ | 意見 | 最善の利益 |
| ④ | 要求 | 最善の利益 |
| ⑤ | 意見 | 良好な環境 |
| ⑥ | 要求 | 良好な環境 |

kyosai-guild.jp

[6] 次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

- (1) 「熊本市教育振興基本計画(令和6～令和9年度)」では、基本理念「豊かな人生とよりよい社会を創造するために、自ら考え主体的に行動できる人を育む」の下、その実現のための「基本方針」が示されている。その「基本方針(3)最適な教育環境の整備」に掲げられている内容として適切でないものを、①～⑤から一つ選び、番号で答えなさい。

解答番号は、[16]

- ① 安全・安心な学校づくりの推進
- ② 地域や家庭と連携した教育環境の整備
- ③ 自ら学びに向かう力を育む教育の推進
- ④ 働き方改革の推進
- ⑤ 学校におけるマネジメント体制の強化

- (2) 次の文は、「いじめ防止対策推進法(平成25年法律第71号)」の一部である。(ア)～(ウ)に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑥から一つ選び、番号で答えなさい。

解答番号は、[17]

第二条 この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の(ア)にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為((イ)を通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童等が(ウ)の苦痛を感じているものをいう。

- | | ア | イ | ウ |
|---|------|---------|----|
| ① | 人的関係 | インターネット | 心身 |
| ② | 交際関係 | 電子メール | 精神 |
| ③ | 人的関係 | インターネット | 精神 |
| ④ | 交際関係 | 電子メール | 心身 |
| ⑤ | 人的関係 | 電子メール | 精神 |
| ⑥ | 交際関係 | インターネット | 心身 |

[7] 次の(a)、(b)のそれぞれの文が説明している評価方法の名称として正しいものを、それぞれ下の①～⑥から一つ選び、番号で答えなさい。

解答番号は、(a)は [18]、(b)は [19]

- (a) 教授・学習過程の途中で学習者の習得状況を教師と学習者にフィードバックするために用いられる。学習者には、どの部分が不十分でどこを学習したらよいか、教師には、学習者に対する治療的指導のための処方箋を準備するという具合に、教授・学習活動を調整するための評価情報をもたらされる。
- (b) 学習集団の外部に、その集団とは直接関係することなく規準を設定して、集団の構成員である児童・生徒の知識や技能の習得またはその程度、すなわち、基準と突き合わせて、その落差を確認する。

- ① 相対評価
- ② 総括的評価
- ③ 個人内評価
- ④ 診断的評価
- ⑤ 絶対評価
- ⑥ 形成的評価

kyosai-guild.jp

[8] 次の文は、「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」（平成20年3月）の「第2章 第1節 1 （4）人権尊重の視点に立った学級経営等」の一部である。文中の（ア）、（イ）に当てはまる語句として適切なものを、それぞれ下の①～⑥から一つ選び、番号で答えなさい。

人権教育の推進を図る上では、もとより（ア）である学校が、人権が尊重され、安心して過ごせる場とならなければならない。

学校においては、的確な児童生徒理解の下、学校生活全体において人権が尊重されるような環境づくりを進めていく必要がある。

そのために、教職員においては、例えば、児童生徒の意見をきちんと受けとめて聞く、明るく丁寧な言葉で声かけを行うことなどは当然であるほか、個々の児童生徒の大切さを改めて強く自覚し、一人の人間として接していかなければならない。

また、特に、児童生徒が、多くの時間を過ごすそれぞれの学級の中で、（イ）を認め合える人間関係を相互に形成していけるようにすることが重要であり、このような観点から学級経営に努めなければならない。

（ア） 解答番号は、[20]

- ① 競争の場 ② 出会いの場 ③ 交流の場
④ 共に育つ場 ⑤ 学びの場 ⑥ 教育の場

（イ） 解答番号は、[21]

- ① 成長 ② 相手の立場 ③ 多様な考え
④ 自他のよさ ⑤ 希望や目標 ⑥ お互いの考え

Kyosai-guild.jp

[9] 次の文は、「生徒指導提要」(令和4年12月 文部科学省)の「第1部 第3章 3.6.1 (3)校則の見直し」の一部である。(ア)～(ウ)に入る語句の組合せとして適切なものを、下の①～⑥から一つ選び、番号で答えなさい。

解答番号は、[22]

校則を制定してから一定の期間が経過し、学校や地域の状況、(ア)等を踏まえて、その意義を適切に説明できないような校則については、改めて学校の(イ)に照らして適切な内容か、現状に合う内容に変更する必要があるか、また、本当に必要なものか、絶えず見直しを行うことが求められます。さらに、校則によって、教育的意義に照らしても不必要に行動が制限されるなど、マイナスの影響を受けている児童生徒がいないか、いる場合にはどのような点に配慮が必要であるか、検証・見直しを図ることも重要です。

校則は、最終的には(ウ)により適切に判断される事柄ですが、その内容によっては、児童生徒の学校生活に大きな影響を及ぼす場合もあることから、その在り方については、児童生徒や保護者等の学校関係者からの意見を聴取した上で定めていくことが望ましいと考えられます。また、その見直しに当たっては、児童会・生徒会や保護者会といった場において、校則について確認したり議論したりする機会を設けるなど、絶えず積極的に見直しを行っていくことが求められます。

	ア	イ	ウ
①	社会の変化	指導理念	校長
②	社会の変化	指導理念	教育委員会
③	社会の変化	教育目的	校長
④	生活習慣の変化	指導理念	教育委員会
⑤	生活習慣の変化	教育目的	校長
⑥	生活習慣の変化	教育目的	教育委員会

[10] 次の文は、「こども基本法(令和4年法律第77号)」の「第二条」である。文中の(ア)に当てはまる語句として正しいものを、下の①～⑥から一つ選び、番号で答えなさい。

解答番号は、[23]

第二条 この法律において「こども」とは、心身の発達の過程にある者をいう。

2 この法律において「こども施策」とは、次に掲げる施策その他のこどもに関する施策及びこれと一体的に講ずべき施策をいう。

- 一 新生児期、乳幼児期、学童期及び思春期の各段階を経て、おとなになるまでの心身の発達の過程を通じて(ア)行われるこどもの健やかな成長に対する支援
- 二 子育てに伴う喜びを実感できる社会の実現に資するため、就労、結婚、妊娠、出産、育児等の各段階に応じて行われる支援
- 三 家庭における養育環境その他のこどもの養育環境の整備

- ① 切れ目なく ② 適切に ③ 十分に ④ 丁寧に ⑤ 平等に ⑥ 様々に

[11] 次の文は、「小学校学習指導要領（平成29年告示）」の「第1章 第4 2 (1) 障害のある児童などへの指導」の一部である。文中の（ A ）、（ B ）に当てはまる語句として正しいものを、それぞれ下の①～⑥から一つ選び、番号で答えなさい。

ア 障害のある児童などについては、（ A ）等の助言又は援助を活用しつつ、個々の児童の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行うものとする。

（中略）

ウ 障害のある児童に対して、通級による指導を行い、特別の教育課程を編成する場合には、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第7章に示す（ B ）の内容を参考とし、具体的な目標や内容を定め、指導を行うものとする。

（ A ） 解答番号は、[24]

- | | |
|------------------|--------------|
| ① 特別支援教育コーディネーター | ② スクールカウンセラー |
| ③ 特別支援学校教諭免許状所有者 | ④ 養護教諭 |
| ⑤ 特別支援学校 | ⑥ 教育委員会 |

（ B ） 解答番号は、[25]

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ① 自己活動 | ② 自主活動 | ③ 自助活動 |
| ④ 自立活動 | ⑤ 支援活動 | ⑥ 援助活動 |

kyosai-guild.jp

[12] 次の文は、「第2次熊本市特別支援教育推進計画（令和3年4月）」の「第Ⅱ章 2 基本方針」に示されている〔取組の目標〕である。（1）、（2）の各問いに答えなさい。

- ・ 家庭や関係機関と連携した支援体制の構築
- ・ （ア）から（イ）卒業にわたる移行支援体制の整備
- ・ 特別支援教育の視点を生かした授業づくりの推進
- ・ 特別支援学校教諭免許状の保有率の向上
- ・ （ウ）教育環境の整備
- ・ 通級による指導の活用推進
- ・ （エ）社会を担う人材の育成
- ・ 障がい者理解教育の推進

（1）（ア）、（イ）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、①～⑥から一つ選び、番号で答えなさい。

解答番号は、[26]

- | | ア | イ |
|---|-----|-----|
| ① | 幼児期 | 中学校 |
| ② | 幼児期 | 高校 |
| ③ | 幼児期 | 大学 |
| ④ | 学童期 | 中学校 |
| ⑤ | 学童期 | 高校 |
| ⑥ | 学童期 | 大学 |

（2）（ウ）、（エ）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、①～⑥から一つ選び、番号で答えなさい。

解答番号は、[27]

- | | ウ | エ |
|---|-------------|----|
| ① | ICTを活用する | 共生 |
| ② | ICTを活用する | 共存 |
| ③ | 個に応じた | 共助 |
| ④ | 個に応じた | 共生 |
| ⑤ | UDの視点を取り入れた | 共存 |
| ⑥ | UDの視点を取り入れた | 共助 |

解答番号	正答	解答番号	正答	解答番号	正答
1	5	21	4	41	
2	6	22	3	42	
3	2	23	1	43	
4	9	24	5	44	
5	1	25	4	45	
6	3	26	2	46	
7	2	27	4	47	
8	4	28		48	
9	6	29		49	
10	2	30		50	
11	6	31		51	
12	2	32		52	
13	4	33		53	
14	1	34		54	
15	3	35		55	
16	3	36		56	
17	1	37		57	
18	6	38		58	
19	5	39		59	
20	6	40		60	

※配点：1問1点（解答番号7～10、13～17、20、21、26、27は1問2点）